

編集後記

暑い中にも少しずつ秋の気配が感じられるようになってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今号では、昨年度の日本海区水産研究所における研究成果と、シリーズでお伝えしているサケの受精率向上のための取り組みについてご紹介しました。今年は、昨年、一昨年に比べると大型クラゲの出現量が多いようです。大型クラゲについては、今号に掲載したフェリーによる目視調査と、調査船によるネット採集などの調査で分布状況の把握を行っています。これらの調査と日本海海況予測システム（JADE）を用いた予測技術を組み合わせ、沿岸域での出現状況をより高精度で迅速に予測することで被害が軽減できるよう、日本海区水産研究所はこれからも研究開発に邁進していく所存です。

（日本海区水産研究所業務推進課長）

発行：独立行政法人水産総合研究センター

編集：独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所
〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939-22
電話：025-228-0451(代) FAX：025-224-0950
<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>